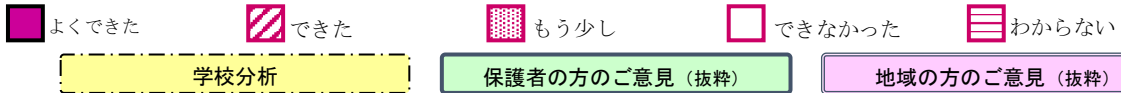


【学校評価】今年度を振り返る～学校評価の結果より～

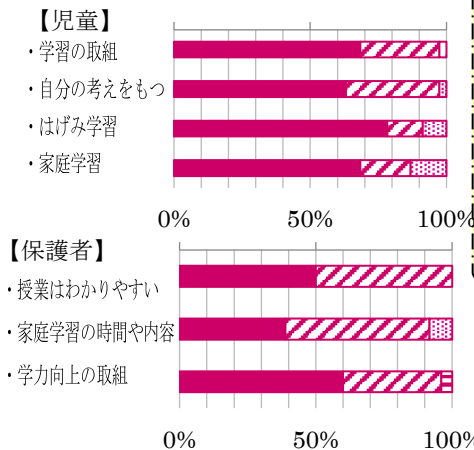
先般はアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者や地域の皆様、児童や教職員のアンケートの結果をもとに、今年度の成果と課題を学校評価としてまとめました。学校関係者評価委員の皆様にご意見をいただき、保護者や地域の皆様の思いや願いをしっかりと受け止めながら、次年度の教育活動の改善に生かしていきます。

～児童アンケート・保護者アンケート・地域代表者アンケートの結果より～



I 学習について

1. 学力向上



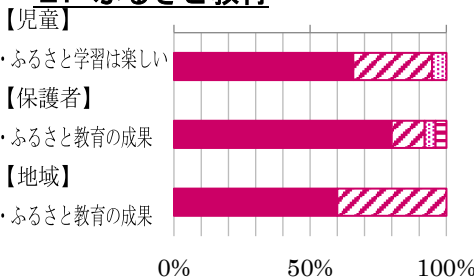
肯定的評価が概ね 80%以上、昨年度より高評価でした。更なる学力向上のため、また児童の ICT 活用能力の向上のため、以下の点についての改善を検討します。

- ・ICT 活用プランに沿った教職員研修の充実を図る。
- ・児童の ICT 活用のスキルアップ時間を確保する。(はげみの時間等)
- ・よりよい学習指導体制を目指した学習マナー等の共通理解を図る。
- ・横田しぐさ7カ条や掲示物等を利用し、児童の学習マナーに対する意識の向上を目指す。
- ・児童からの啓発活動を推奨し(委員会活動との連携)、時間等のきまりを守り、更に安心・安全に学校生活をおくれるようにする。
- ・造形的な見方・考え方を働かせながら、自分の考えや思いを進んで表現できる子どもを育成するため、目指す子どもの姿や、その姿にせまる手立ての共通理解を図り、造形授業を創る。(R6 中国造形研究大会発表)

・これから複式学級、統合とクラスメイト間の摩擦が起きないことを願っております。特に他校とのコミュニケーションが円滑に構築されるよう、統合後の子どもたちに役立つ内容の時間を設けていただけると喜びます。
・低学年のうちから、道徳に重きを置いてほしいです。

- ・馬木でしか学べない取り組み、小規模校ならではのきめ細かい指導を頑張ってください。学習発表会では、各学年の学習成果の発表の場で、各々がしっかり自分の持ち味を出していました。横田小で一緒になっても、中学へと進学されてもより自信を持って進めるものと思いました。
- ・主体的で対話的で深い学びのためには、もっと教員にゆとりが必要ではと思います。たくましい馬木の子が育つための個に応じた学びや主体的な学びの姿を育むように地域でも応援していきたいです。

2. ふるさと教育

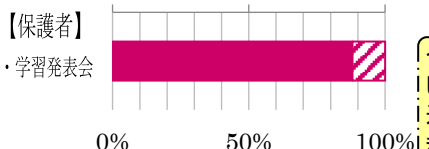


今後も地域の方に協力していただきながら、ふるさと学習を進めていきたいと考えています。高学年が複式学級になり、隔年実施としていたマキ田くんは、来年度は全校での実施を考えています。また閉校に向けて馬木の歴史について高学年を中心に学習する予定です。

・諸事情もあり仕方ないが、地域自体も人口減高齢化に伴い協力体制が整わない状況があります。子どもたちに田植えや稲刈り等の体験をさせてあげられないことや地域の方々と交流できる地区民体育大会の開催ができなくなったことも寂しく感じます。

- ・すべてに対して楽しいと思って活動しているのか多少疑問を感じます。最近は大人も子どもも互いに会話が少ないこともあり、数年前の子どもとは大きく変化したように思います。学校統合も近くなり子どもたちとの接点が増え減ってきます。今後のことを考えさせられます。

3. ねらいをはっきりさせ、取り組んだ行事

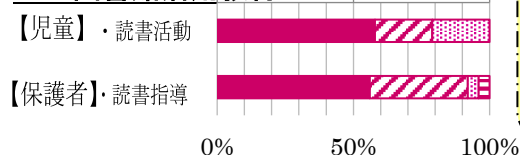


発表会等の行事の予備日を決めているなら、事前に周知していただくと休みが取りやすいです。

今年度、地域の方にも馬木っ子発表会等、子どもたちの活躍を見ていただきました。馬木っ子発表会は、直前の感染症の流行により、延期を余儀なくされ、ご迷惑をおかけしました。今後もこのような急な変更があるかもしれませんが、できるだけ早く、皆様にお知らせできるように努めます。

馬木っ子発表会の案内を地域の者へ広くいただき子どもたちの学びの姿を見る場ができてよかったです。

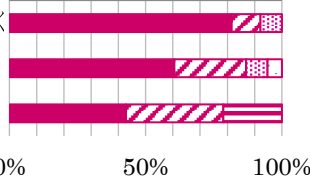
4. 図書館活用教育



今年度も子どもたちに読み聞かせなどをしていただき、ありがとうございました。肯定的評価は概ね 80%以上、昨年度より高評価でした。今後も子どもたちがより読書に親しめるように読書指導やよりよい活用方法等を検討していきます。

5. 話す・聞く (コミュニケーション力)

- 【児童】・人のことを大切に聴く
・考え、感想を話す
- 【地域】・子どもたちとの会話

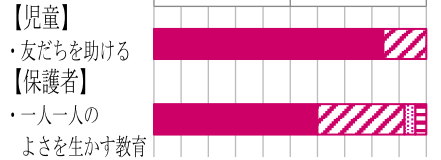


児童アンケートでは、「話す」「聞く」ともに肯定的評価が向上しました。しかし、話す力については、さらに力をつける必要があると感じています。今後も学力育成策と合わせ、指導を続けていきます。地域の方からは、肯定的評価 82%(前年度比+6%)でした。普段より子どもたちに、温かく接していただき感謝しています。

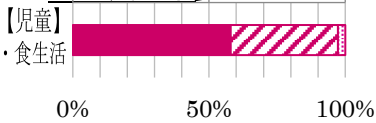
II 生活について

6. 人権・同和教育

肯定的評価は、児童、保護者ともに 9 割以上でした。今後も、人権・同和教育を様々な活動の根底に据えながら、仲間をリスペクトすることの大切さを伝えていきます。各学級で作った人権宣言を掲示し、折に触れて立ち返る機会を設け、生活を振り返ったり、人権意識を高めたりするツールとして活用します。



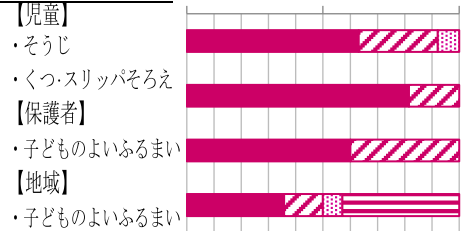
7. 食生活



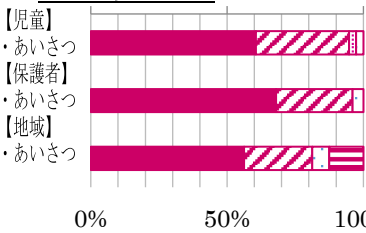
栄養教諭と担任、養護教諭が連携しながら、食事のマナーや健康により食事について考え、食習慣の形成を図りました。来年度は給食時に食事マナー等のミニ指導を行うことを検討しています。

全校集会で「横田しぐさ 7 か条」を取り上げるなど全校に啓発活動を行いました。くつ・スリッパそろえ等は、今年度も子どもたちは頑張っています。学校だより等で子どもたちの頑張りを地域の方にもお知らせしていきたいと考えています。

8. ふるまい向上

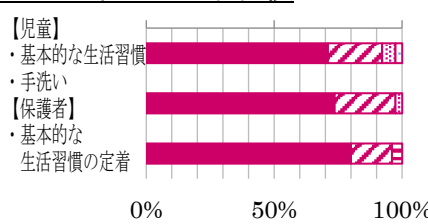


9. あいさつ



児童・保護者・地域ともに肯定的評価が 9 割程度でした。今後も集団下校時の挨拶練習の場等を生かし、地域の方の想いを伝えながら、「いつでも、どこでも、誰にでも」あいさつができる馬木の子を目指していきます。

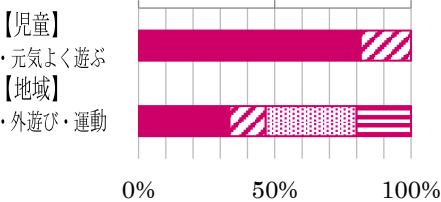
10. 基本的な生活習慣



今年度は、「ノーマディアにチャレンジ」を「メディアチャレンジ！」に名称変更し、各家庭に協力していただきました。

肯定的評価は保護者、児童ともに 9 割程度でした。今年度は PTA 研修会で嘉村医院嘉村正徳氏の講演を親子で聞き、眠り・生活習慣病とメディアについて学びました。来年度も実りある研修会になるようにしていきたいと考えています。

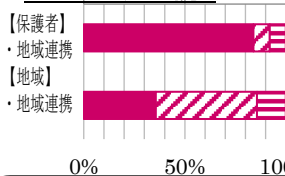
11. 体力作り (外遊び)



体力の向上を図るため、体育の時間や中休みの時間を使って、長い距離を走る時間が保障できるように検討します。また委員会活動に働きかけ、体力づくりを自分のこととしてとらえ、子どもたちが取り組めるようにしていきます。なわとび集会等の全校で取り組める集会を企画し、上級生の様子から自分も頑張ろうとする気持ちがもてる場をつくるなどしていきます。

III その他について

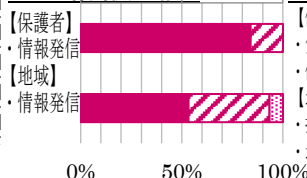
12. 地域連携



肯定的評価は保護者、地域の方ともに 9 割程度でした。学校 150 周年に向け、また、再編統合に向け、地域の方々と更に連携していきたいと考えています。

・文化祭や祭りでは神楽を見ることができ、うれしく思いました。伝統ある活動を統合後も続けてもらえたらと願っています。
・子ども神楽は 6 月から 11 月中旬まで約 6 ヶ月の長期間に渡って活動し誰一人として休むことなく活動ができたことは実にすばらしく大きな成果でした。地域の文化芸能にふれる一つの馬木の大きな財産です。貴重な体験として今後も活動ができると良いと感じています。
・年々子どもの人数が減ってきて寂しくなります。地域と子どものコミュニケーションを図る場が必要であると考えます。

13. 情報発信

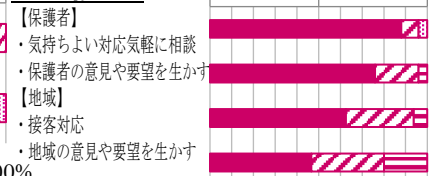


肯定的評価は保護者・地域ともに 9 割以上でした。今後も定期的な学校だよりの発行やブログの更新等を行い、子どもたちの様子が地域や保護者の皆様に伝わるように努めてまいります。

学校のブログ
はこちらから➡



14. 接遇



接遇については、85%以上と肯定的な評価でした。相談しやすい雰囲気づくり、誠実な対応に努め、さらに身近に感じられる学校をめざしていきます。

先生方が皆さん親身になり話を聞いてくださるため、悩みを打ち明ける事ができます。楽しく学校生活を送れていることに本当に感謝いたします。